

高知県感染症発生動向調査（月報）

2020年9月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第36週(8月31日～)から第39週(～9月27日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における9月の上位6疾患の合計は14.04で8月の13.83と比べて横ばいであった。コロナ対策の活動自粛と衛生管理により4月・5月と感染症が顕著に減少し、6月・7月は自粛の緩和で感染症が増加していたが、8月は再び減少に転じ9月は横ばいで推移し日常感染症の減少が続いている。夏の感染症であるヘルパンギーナと手足口病も例年に比べて低い数値で推移している。

1位は感染性胃腸炎で7.09(8月1位6.47)と横ばいだった。2位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.25(同3位2.03)とわずかに増加した。3位は突発性発疹で1.88(同4位1.81)と横ばい、4位はヘルパンギーナで1.31(同2位2.04)と減少した。5位は流行性角結膜炎で0.87(同5位0.85)、6位は咽頭結膜熱で0.64(同6位0.63)と、いずれも横ばいだった。

〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

世界の患者数は図1左に示すように、10月7日には3,500万人を超え、死亡者は100万人超(1,048,368人)となり、感染拡大の加速度はまだ弱まっていない。患者数を国別でみると、1位米国、2位インド、3位ブラジル、4位ロシア、5位コロンビア、6位ペルー、7位スペイン、8位アルゼンチン、9位メキシコ、10位南アフリカとなっている。

日本の患者数を図1右に示す。5月6月は増加に歯止めがかかった。その後は自粛緩和を契機に7-8月と感染拡大が加速したが、9月以降は増加が少し緩やかになっている。国内の死亡者は1,605人に達した。図1右に示す通り、感染者数増加の割に死亡者数の増加は緩やかである。

死亡率の高さは患者年齢と強い関連性がある。図2に6月10日時点(左)と9月30日時点(右)での年齢階層別の死亡率を示す。高齢ほど重症となることは明らかである。ただし、60歳以上での死亡率がわずかに低下したようにみえるが、その理由として、治療技術の向上による可能性がある。馴化によるウイルス弱毒化と考えるのはやや楽観的すぎるだろう。

高齢者の感染者数増加は死亡率増大に直結するので、年代層別の患者比率を監視することは重要である。図3に示すように、7月1日時点までは50歳代以上が半数弱を占めていたが、8月以降は20代、30代の感染者が増加し、高齢者の感染は抑制されているようである。引き続き、高齢感染者が増加していないか注意が必要である。

臨床の現場では、コロナウイルスを心配してのPCR検査を望む声はむしろ小さくなり、特に若年層においては、検査しても陽性であったときの誹謗中傷や長期隔離による損失を避けたいと望む風潮があるのでは、と感じることがある。実数が正確に把握できているかについても注意が必要かもしれない。

なお、図に表示された厚労省HPの各数値は、個々の集計方法のちがいがから数に不一致があるので、あくまで参考として参照されたい。

〈風疹〉

2018年からの風疹の国内流行がようやく終息したようである。風疹は2018年に累積で2,941例、2019年には2,306例が報告された。2020年第37週までの報告数は90人である。コロナ自粛の副産物であったろう。予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が2019年4月から実施中なので、対象者はこの機会を活用してほしい。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	36週	37週	38週	39週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		1.94	1.88	1.84	1.43	7.09
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.58	0.56	0.63	0.48	2.25
3	突 発 性 発 疹		0.51	0.51	0.49	0.37	1.88
4	へ ル パ ン ギ ー ナ		0.41	0.35	0.35	0.20	1.31
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.26	0.22	0.23	0.16	0.87
6	咽 頭 結 膜 熱		0.17	0.17	0.17	0.13	0.64

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の9月の上位6疾患の合計は14.41と8月の13.28と比べて横ばい（10%未満の変動）であった（表2）。全国同様に、COVID-19のパンデミック以降は、際立って増加するような疫学的に注目される感染症は見当たらない。

1位は手足口病で5.68（同2位2.36）と増加し、全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で4.18（同1位4.69）、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で1.72（同3位1.97）といずれも少し減少し全国よりも少なかった。4位は突発性発疹で1.39（同5位1.50）と横ばいで全国よりも少なかった。5位は咽頭結膜熱で0.81（同4位1.90）と減少したが、全国よりも多かった。6位はマイコプラズマ肺炎で0.63（同11位0.26）と増加し、全国よりも多かった。

高知県におけるCOVID-19の月別患者数を図4に示す。2月29日～3月8日に12人が報告され、その後19日間は報告が途絶えた。第2波は3月27日に始まり、連日新規患者が報告され4月29日までに62人が加わった。4月16日から5月14日まで本県を含む全国に緊急事態宣言が発せられた。高知県は5月14日以降に、学校、公共機関、飲食等の活動が再開され、全国の感染拡大の中、他県と比べて人的往来に寛容な対応をとっている。7月6人、8月45人、9月以降では9月27日までに13人の患者発生があり、夏休み・お盆休みの人の往来を反映して患者が増加した。10月9日時点で計138人の患者が報告されている。リンクの追えない感染者は散発的である。年齢階層別の患者数は10歳未満が12例、10歳代が2例、20代14例、30代22例、40代27例、50代20例、60代20例、70代12例、80代7例、90代2例となっている。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	36週	37週	38週	39週	計
1	手 足 口 病		1.43	1.46	1.04	1.75	5.68
2	感 染 性 胃 腸 炎		1.32	1.00	0.86	1.00	4.18
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.54	0.50	0.32	0.36	1.72
4	突 発 性 発 疹		0.21	0.39	0.36	0.43	1.39
5	咽 頭 結 膜 熱		0.14	0.14	0.32	0.21	0.81
6	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎		0.38	0.25	0.00	0.00	0.63

図1.2020年10月7日時点でのCOVID-19(厚生労働省HPから)

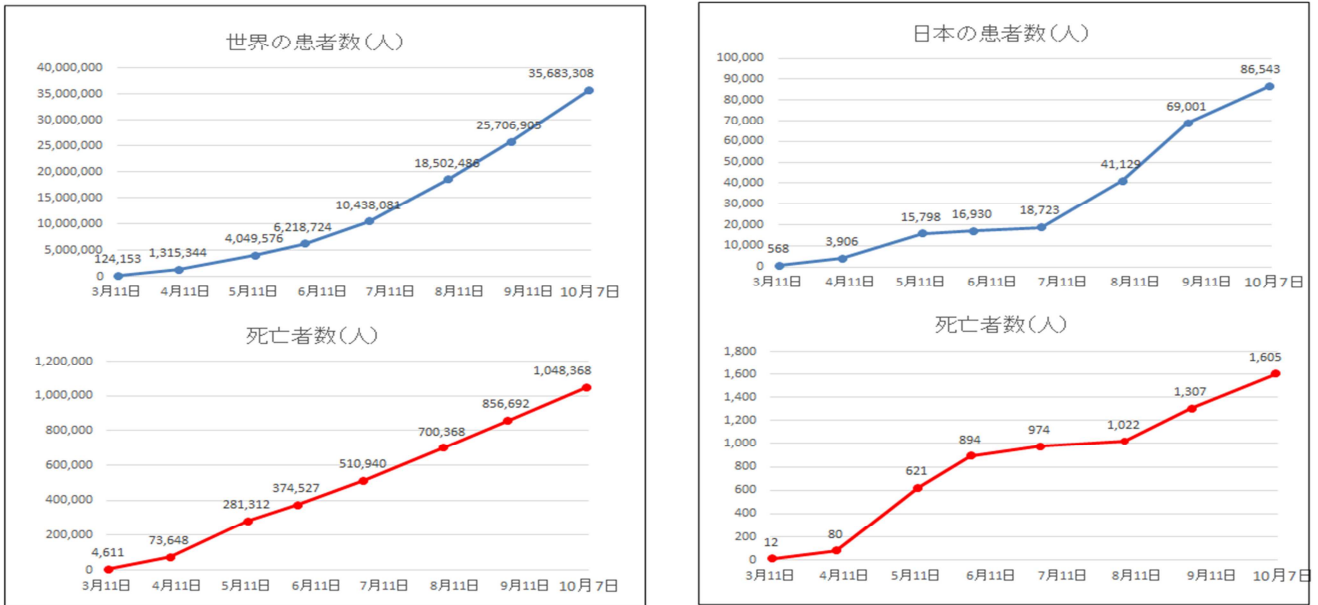


図2.年齢階層別の死亡率

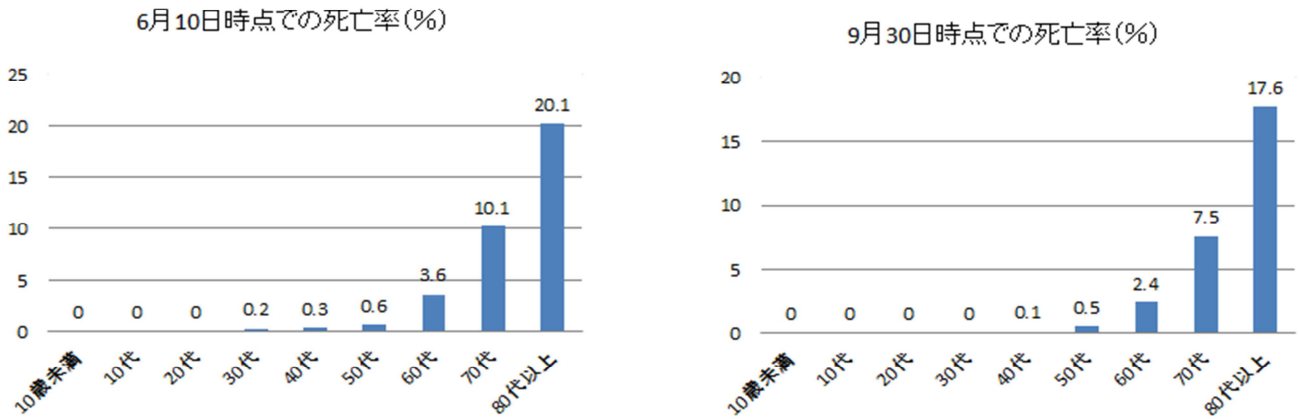
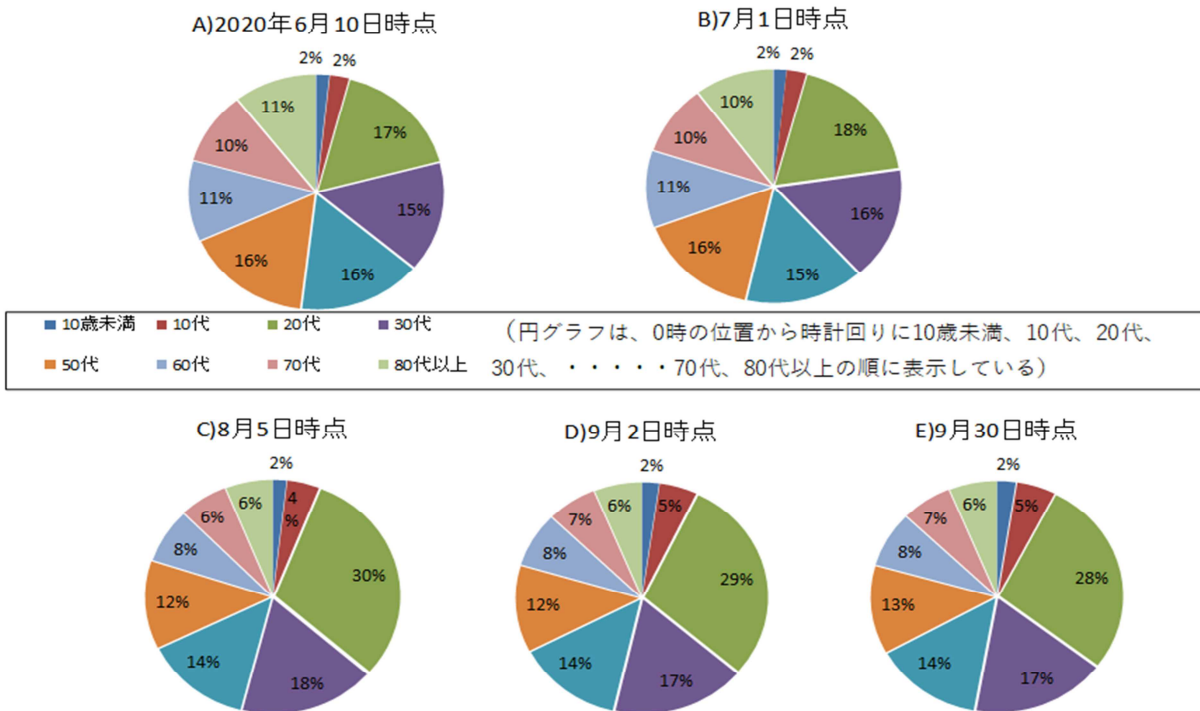
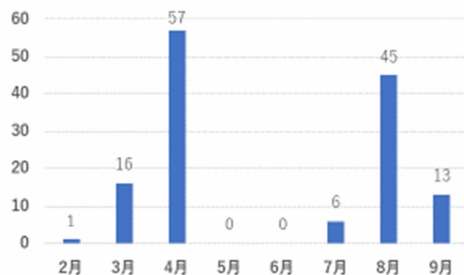


図3.日本での1か月ごとの年代層別COVID-19患者数比率



図に表示された厚労省HPの各数値は、個々の集計方法のちがいで数値に不一致があるので、あくまで参考として参照されたい。

図4. 高知県のCOVID-19月別患者数（人）



高知県の新型コロナウイルス感染症の発生状況（9月以降）

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
126例目	9月1日	30歳代・女性	中央東	看護師	124例目の濃厚接触者
127例目	9月1日	60歳代・男性	中央西	会社員	112例目の濃厚接触者
128例目	9月1日	40歳代・女性	高知市	無職	123例目の濃厚接触者
129例目	9月2日	10歳未満・男性	高知市	小学生	128例目の濃厚接触者
130例目	9月3日	80歳代・男性	高知市	無職	
131例目	9月5日	30歳代・女性	高知市	会社員	118例目の濃厚接触者
132例目	9月6日	40歳代・男性	高知市	会社員	123例目の濃厚接触者
133例目	9月8日	10歳未満・男性	高知市	小学生	132例目の濃厚接触者
134例目	9月8日	10歳未満・女性	高知市	未就学児	132例目の濃厚接触者
135例目	9月11日	30歳代・男性	高知市	会社員	131例目の濃厚接触者
136例目	9月11日	30歳代・男性	高知市	社会福祉施設職員	125例目の濃厚接触者
137例目	9月11日	10歳未満・女性	高知市	未就学児	135例目の濃厚接触者
138例目	9月27日	50歳代・女性	高知市	無職	

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 1名（8月 0名）。昨季は対コロナ自粛の影響もあってか小さな流行に終わり終息した。本年5月以降で初めて高知市から成人1名が報告された。ウイルスは検出されていない。9月は沖縄県の5名を筆頭に、全国で計18名報告された。

非流行期には抗原検査は偽陽性率が高い。県衛生環境研究所でのウイルス核酸の確認（PCR法）やウイルス分離の確認検査が必要である。COVID-19流行との兼ね合いでインフルエンザの流行動向にはいつも以上に注目される場所である。

2) 咽頭結膜熱

報告数 23名（8月 53名）。9月としては少ない報告数である。須崎、高知市、幡多、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 48名（8月 55名）。2019年9月から2020年2月にかけて多い数字で推移したが、3月以降は減少し、少ない数字で推移している。県下全域から報告され、特に高知市、須崎から報告が多かった。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 117名 (8月 131名)。もともと少ない数字で推移し、2月に増加して平年並みとなっていたが、3月以降は、過去10年で最低の報告数で推移している。県下全域から報告があり、特に安芸、幡多、中央西で多かったが地域差は少なかった。病原体は検出されていない。

5) 水痘

報告数 13名 (8月 24名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。中央西以外から報告され、須崎で特に多かった。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 159名 (8月 66名)。6月以降の報告数が波打っている。今季の流行規模は平年並みで大きくはない。幡多以外から報告され、特に多かったのは須崎、中央西、高知市である。Coxsackievirus A16が流行株で、8月の検体から1件、9月は5件が検出された。

7) 伝染性紅斑

報告数 4名 (8月 10名)。2019年7月以降は多い報告数で推移していたが、本年3月以降は減少の一途である。中央東、幡多、高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 39名 (8月 42名)。想定内の変動で推移している。コロナ自粛の影響を受けない例外的な感染症のようである。

9) ヘルパンギーナ

報告数 13名 (8月 15名)。夏の感染症だが、5月以降小幅な増加にとどまり、過去十年で最小の流行だった。幡多、安芸以外から報告があった。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 7名 (8月 8名)。年々流行規模が小さくなっているようで、任意接種ながら予防接種が浸透してきているためかもしれない。須崎、高知市、幡多高知市、幡多、須崎から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 1名 (8月 0名)。2020年は3月以降減少し少数にとどまっている。過去3年続けて流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。今年はコロナ自粛の効果もあって、7月8月とゼロであったが、9月に幡多から1例報告された。しかし、一般に流行開始時期としてとらえられている9月としては過去10年間で最小である。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 1名 (8月 2名)。高知市から1名報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (8月 0名)。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は皆無であり、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (8月 0名)。年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年は1名と報告が少ない。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 5名 (8月 2名)。高知市から4名、中央東から1名報告された。衛研では細菌は確認されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 27名 (8月 14名)。平年並の推移である。幡多、高知市から表記の順に多く検出された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (8月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例、2019年は2例の報告があり、2020年は0例である。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患 (令和2年9月)

類型	病名	報告月										総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
2	結核	5	5	8	3	6	9	3	7	2	48	
3	腸管出血性大腸菌感染症									1	1	
4	E型肝炎								1		1	
	重症熱性血小板減少症候群			1	1	1				1	4	
	日本紅斑熱				5	6	3	4	3		21	
	レジオネラ症	1					1	2	3		7	
5	ウイルス性肝炎						1		1		2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		2		1			2	1	7	
	急性脳炎		1								1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病							1			1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1									1	
	後天性免疫不全症候群	2				1			1	1	5	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1					1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	1	2			1		1		10	
	水痘(入院例に限る)	1				1		1			3	
	梅毒	1		3	3	3			3	5	18	
	破傷風		1			1					2	
	百日咳	9	8	7	4	1	1	1	1		32	
	指定感染症	新型コロナウイルス感染症			12	36	26		2			76
	総計	26	16	35	52	48	16	14	23	11	241	

高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

2020年

9月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ			1				1		117	
小児科	咽頭結膜熱		2	13	1	3	4	23	53	125	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	6	27	4	4	5	48	55	167	
	感染性胃腸炎	10	27	36	14	6	24	117	131	235	
	水痘	1	4	4		2	2	13	24	26	
	手足口病	3	13	62	22	59		159	66	156	
	伝染性紅斑		2	1			1	4	10	72	
	突発性発疹	1	7	20	4	3	4	39	42	43	
	ヘルパンギーナ		3	8	1	1		13	15	117	
	流行性耳下腺炎			3			3	1	7	8	3
	RSウイルス感染症							1	1		384
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			1				1	2	4	
STD	性器クラミジア感染症			2				2	6		
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ									1	
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎									2	
	マイコプラズマ肺炎		1	4				5	2	11	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)								1		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			19				8	27	14	22
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
薬剤耐性緑膿菌感染症											
計		17	65	201	46	81	50	460	429	1,485	
前月		17	65	229	35	30	53				
前年同月		48	238	766	117	85	231				
小児科定点数		2	7	9	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

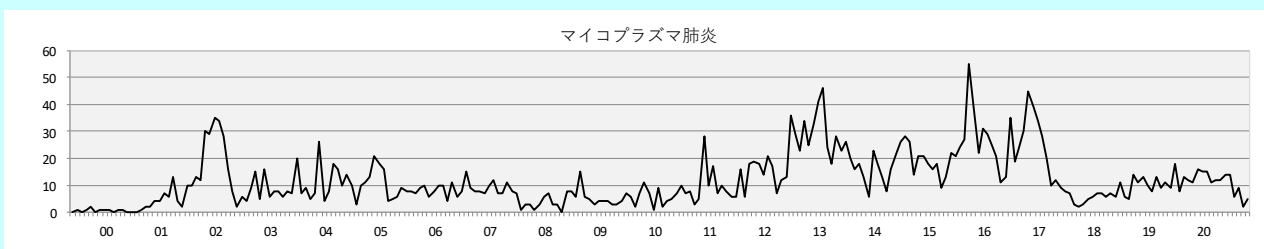
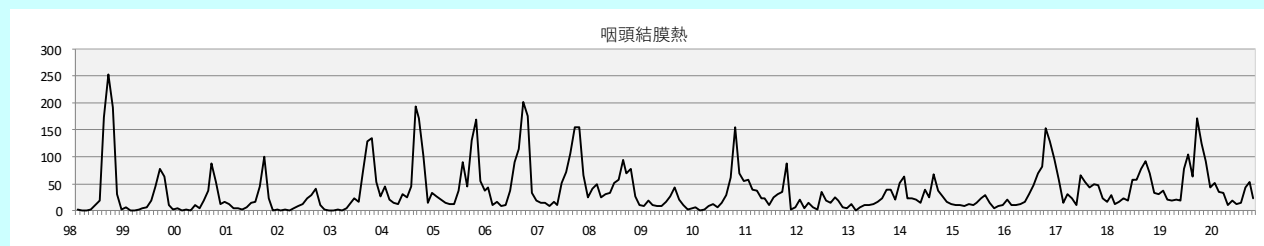
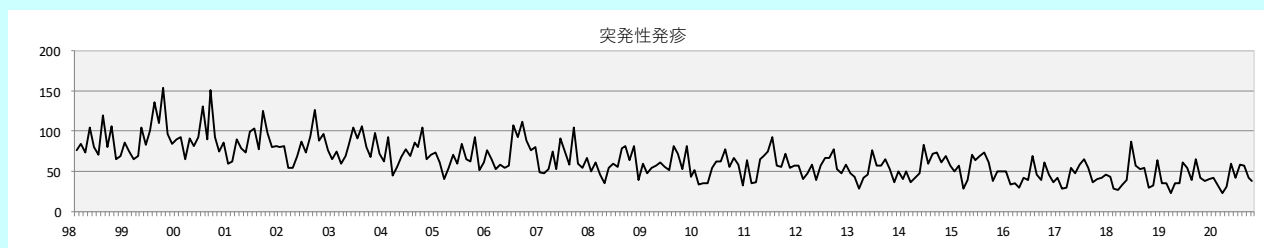
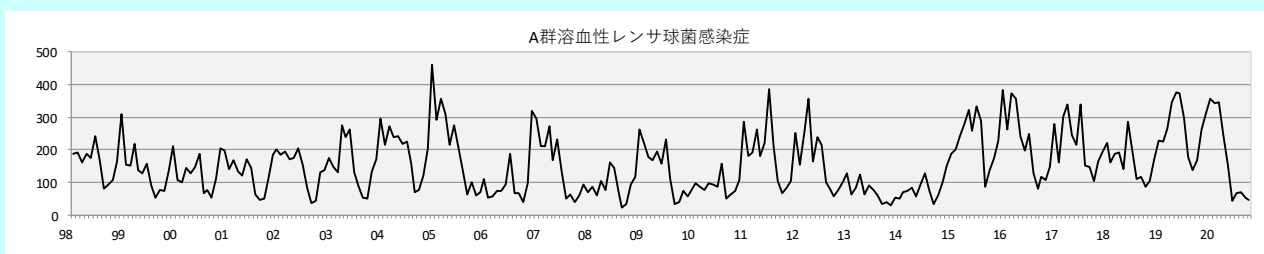
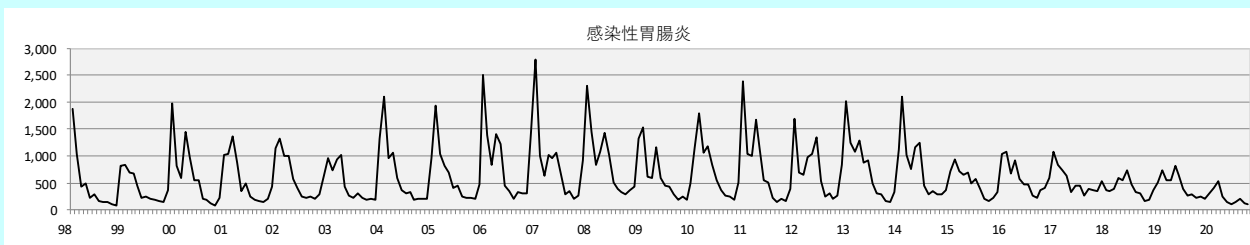
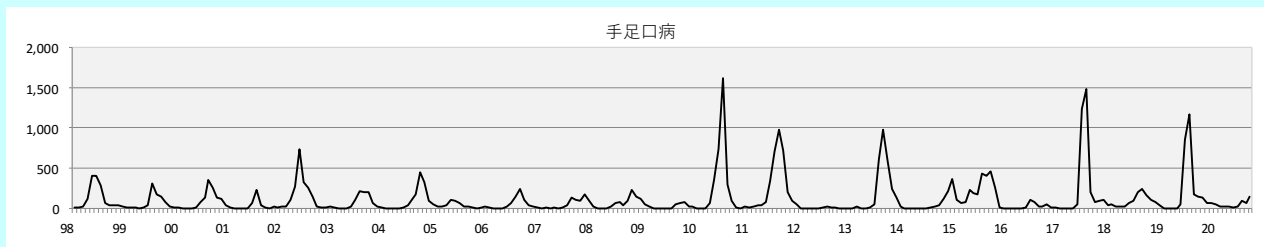
2020年

9月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所								計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
内科・小児科	インフルエンザ			0.07						0.02		2.44
小児科	咽頭結膜熱		0.28	1.44	0.33	1.50	0.80			0.81	1.90	4.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.85	2.99	1.33	2.00	1.00			1.72	1.97	5.56
	感染性胃腸炎	5.00	3.86	4.00	4.66	3.00	4.80			4.18	4.69	7.83
	水痘	0.50	0.57	0.44		1.00	0.40			0.47	0.86	0.87
	手足口病	1.50	1.86	6.89	7.32	29.50				5.68	2.36	5.20
	伝染性紅斑		0.29	0.11			0.20			0.14	0.37	2.40
	突発性発疹	0.50	1.00	2.22	1.33	1.50	0.80			1.39	1.50	1.44
	ヘルパンギーナ		0.43	0.88	0.33	0.50				0.46	0.54	3.90
	流行性耳下腺炎			0.33		1.50	0.20			0.26	0.29	0.10
	RSウイルス感染症						0.20			0.04		12.81
眼科	急性出血性結膜炎											
	流行性角結膜炎			1.00						0.33	0.66	1.32
STD	性器クラミジア感染症			1.00						0.33	1.00	
	性器ヘルペスウイルス感染症											
	尖圭コンジローマ											0.17
	淋菌感染症											
基幹	細菌性髄膜炎											
	無菌性髄膜炎											0.26
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.80						0.63	0.26	1.38
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)										0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			3.80			8.00			3.38	1.75	2.75
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											
	薬剤耐性緑膿菌感染症											
小児科定点分計		8.50	9.14	19.37	15.30	40.50	8.40		15.17	14.48	46.71	
前月		8.00	9.01	23.22	11.65	15.00	10.20					
前年同月		21.75	32.12	65.13	36.18	42.00	45.38					

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

2020年9月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

9月はウイルス22件の搬入があり、そのうちウイルス 9件の病原体を検出し、また、2020年8月に搬入された検体でウイルス 4件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Coxsackievirus A16 6件、Cytomegalovirus 1件、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 2件、Rhinovirus 3件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2ヶ月	女	気管支炎	咳嗽,上気道炎,気管支炎,	鼻汁	7/28	Rhinovirus
2	6	女	—	嘔吐,嘔気,腹痛,	ふん便	8/12	Rhinovirus
3	3	男	手足口病	37°C,発疹,口内炎,	ぬぐい液	8/17	Coxsackievirus A16
4	7	女	—	38°C,発疹,	ぬぐい液	8/19	Human herpes virus 7
5	3	女	—	38°C,発疹,	ぬぐい液	8/26	Human herpes virus 7
6	2ヶ月	女	—	肝機能,	ぬぐい液	8/27	Cytomegalovirus
7	11ヶ月	男	不明発疹症	40°C,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	8/28	Human herpes virus 6
8	5	女	—	39°C,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	9/4	Rhinovirus
9	4	男	手足口病	口内炎,	ぬぐい液	9/4	Coxsackievirus A16
10	3	男	手足口病	37°C,発疹,口内炎,	ぬぐい液	9/7	Coxsackievirus A16
11	4	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	9/9	Coxsackievirus A16
12	1	男	手足口病	39°C,発疹,口内炎,	ぬぐい液	9/11	Coxsackievirus A16
13	3	女	手足口病	37°C,水疱,口内炎,	ぬぐい液	9/12	Coxsackievirus A16

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2020年									2020年総
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1		1								1
	計		1								1
インフルエンザ	Adenovirus 1	1									1
	Influenza virus A H1pdm09	27	9								36
	Influenza virus B /Victoria	3	4	1							8
	Herpes simplex virus 1	1									1
	Rhinovirus	1									1
計	33	13	1							47	
咽頭結膜熱	Adenovirus 3	1									1
	計	1									1
感染性胃腸炎	Coxsackievirus B5	1									1
	Norovirus GI NT			1							1
	Norovirus GII NT	2	7	1							10
	Rotavirus group AG9		1								1
	Rhinovirus		1								1
	Sapovirus genogroup unknown		1								1
計	3	10	2							15	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A5										
	計										
手足口病	Coxsackievirus A16	13	1	1				5	1	5	26
	Enterovirus 71										
	計	13	1	1				5	1	5	26
流行性角結膜炎	Adenovirus 2										
	計										
伝染性紅斑	Human herpes virus 6		1								1
	Human herpes virus 7	1	1								2
	Human parvovirus B19	1									1
	Rhinovirus										
計	2	2								4	
流行性耳下腺炎	Mumps virus	2	3								5
	Mumps virus(ワクチン株)										
	計	2	3								5
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4										
	Coxsackievirus B5	1									1
	計	1									1
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A										
	Respiratory syncytial virus B										
	計										
水痘	Human herpes virus 7		1								1
	Varicella-zoster virus		2								2
	計		3								3
突発性発疹	Human herpes virus 6		1								1
	Rhinovirus										
	計		1								1
その他	Adenovirus 1	2									2
	Adenovirus 2							2			2
	Adenovirus NT							1			1
	Coxsackievirus A4	1									1
	Coxsackievirus A16	1	1								2
	Cytomegalovirus							1		1	2
	Echovirus 30		1								1
	Epstein-Barr virus		1								1
	Human herpes virus 6	6	6					1		1	14
	Human herpes virus 7	4	1						1	1	7
	Human metapneumovirus		2								2
	Human parvovirus B19	1									1
	Influenza virus A H1pdm09	2									2
	Influenza virus B /Victoria	1									1
	Norovirus GII NT		1								1
	Parechovirus 1							1			1
	Respiratory syncytial virus A	1	2								3
	Rhinovirus	2	1	2					2	1	8
	Sapovirus genogroup unknown	1									1
	計	22	16	2				6	3	4	53
総計		77	50	6				11	4	9	157

類型	病名	報告年																				総計		
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018		2019	2020
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	48	1798
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	48	1798
3	コレラ	1					1						1											3
	パラチフス	2																						2
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2				27
	腸チフス		1						1									1				1		4
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1	207
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	243
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2	34
	Q熱	1	1	2					1															5
	オウム病			1		1														1				3
	つつが虫病		9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3		90
	マラリア								2					1								1		4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	7	80
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	7	21	193
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1											6
	レプトスピラ症											1	4	2	1					1				9
	E型肝炎											1		1								2	1	5
	デング熱											1					3	2	1			2	9	9
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	4	47
	計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	33	485
5	ア메ーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		47
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3			3		1		2	1	1	2	60
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																	7	19	21	22	21	20	117
	急性弛緩性麻痺																					1	2	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	1	33
	ジアルジア症		1	2	1									1	1						1			8
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1		1	1			5
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1	21
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1	1	1	1	3		1	1	3	5	6	2	1		27
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	5	80
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	1	24
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	12	16	18	14	22	10	97
	水痘(入院例に限る)																4	2	1	1	3		3	10
	播種性クリプトコックス症																		1	3	5			9
	髄膜炎菌性髄膜炎									1														1
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	2	34
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	18	214
	百日咳																							
	麻しん										5													5
	風しん										1	1				4	9	1			3			19
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	83	1191
指定	新型コロナウイルス感染症																							76
	計																							76
新型	新型インフルエンザ													34										34
	計													34										34
動物	鳥インフルエンザ													1										1
	計													1										1
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	241	3828